

# 久間がゆく

No.13

## 金納興業株式会社

〜焼き麩から始めて売上高125億円企業に  
鶏卵や畜産用飼料など九州一円で展開〜



【写真左上】本社工場【写真左下】GPセンターでは洗浄、殺菌された鶏卵を機械で選別【写真右上】選別された鶏卵がパックに入れられてラインを流れていく【写真右下】最後はパック詰めされた鶏卵を従業員がまとめ、出荷される

### 【事業者情報】

- 本社所在地＝東蒲池 907・1 ☎73・1333
- 資本金＝9600万円
- 売上高＝約125億円（H27年度）
- 代表者＝金納秀司
- 従業員＝165人

皆さん、こんにちは。企業支援相談員の久間です。この連載も、今回で2年目を迎えます。昨年度は、特徴的な工業・製造業の企業を中心に紹介。今回からは、食品関連の企業を紹介していく予定です。最近、食の安全安心の観点から、国内産や国内で加工される食品の重要性が見直されています。そんな皆さんの食卓を支える元気な企業を紹介していこうと思います。まず今回紹介する企業は、金納興業株式会社です。

この会社は、東蒲池に本社を構え、主に鶏卵の選別や出荷、販売を行っています。また、福岡市をはじめ、熊本や長崎、大分、宮崎、鹿児島、各県に営業所や養鶏場、関連施設を持つなど、九州一円で事業を展開しています。

金納秀司会長は「養鶏場のニワトリは合計で約65万羽。鶏卵の出荷は1日で約65トンにもなるんですよ」と話します。ニワトリが産んだ卵は、GPセンターと呼ばれる施設に養鶏場から運び込まれます。施設内には、洗卵選別機という大型の機械があり、鶏卵を洗って殺菌。ひびの有無や大きさなどを自動で選別し、パック詰めまで行います。本会社に併設された施設には、この機械が2台あり、1時間になんと8万個の鶏卵をパック詰めすることができると言います。

創業は、大正13（1924）年。金納会長の父が、焼き麩の製造、販売を始めます。昭和30年に、麩の原料である小麦粉の卸売業を開始。その後、畜産用飼料、鶏卵の販売、直営の養鶏場の経営など、順調に事業を拡大。平成に入ったところから徐々に鶏卵事業を主軸に据え、20年には売上高が120億円を突破するほどの企業へと成長しました。

今後は、事業の拡大よりも各地にある施設の充実を図っていくという金納会長。「良い商品を生み出すために、新しい機械を導入し、施設を刷新する予定です。競争が激しい業界で、シェアを広げていきたい」と意気込みを語りました。

卵のパック詰め工場では、品質面や衛生面で厳格な基準が設けられています。それらをクリアすることで、おいしくて栄養価の高い安心安全な卵が、私たちの食卓に届けられていることを実感しました。

【問】市商工振興課企業誘致・ベンチャー支援係（☎77・8762）